

「売ることのひみつから私たちの暮らしを考えよう

～店で働く人と仕事～ (16時間扱い)

授業者 阿部 智

1. 教材の特徴

学習内容の系統性 地域の生産・販売の指導内容は、「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」という内容の枠組みの「経済・産業」分野に分類されます。この分野では、4年生の飲料水・電気・ガスの確保や廃棄物の処理、5年生の農業・水産業・工業生産や情報産業の学習へとつながっていきます。よって、本単元は、これらの学習内容の基盤となるよう、販売に関する概念的知識を、人々の思いや願い、調査による情報の分析を通して獲得していきます。

新学習指導要領におけるポイント まずは、「学習の問題を追究・解決する活動を通して」販売についての内容を身に付けます。ですから、どのような学習問題を立て、どのように解決に向けて追究していくのが、学習計画立案にとってのポイントになります。また、扱う内容は現行指導要領においては「地域には販売の仕事があり、自分たちの生活を支えている」こととなっていました。新指導要領では、「販売の仕事に携わる人々の工夫」となっています。つまり、販売という社会的事象を「調査・見学」による追究活動を通して、「消費者の願い、販売の仕方、対地域や外国との関わりなどに」着目することにより、分析的に「販売に携わっている人々の仕事の様子」を捉え、そのことにより、販売の仕事に見られる工夫を考えていくこととなります。

小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 社会科編 pp. 31-33
小学校学習指導要領 (平成20年告示) 解説 社会科編 p. 25

本単元の目標 ですから、本単元の目標は、

- ・ 買い物調べやスーパーマーケット見学を通して、販売の仕事の様子、商品を通じた他地域や外国とのつながりについて調べ、販売に携わる人々の工夫についてとらえることができる。
- ・ 客の買い物の工夫と店の販売の工夫とのかかわりについて考え、販売の仕事が、客の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解する。
- ・ 販売の仕事について、それに携わる人々の工夫について主体的に追究しようとする態度や、販売の仕事について考え学習したことを日常生活に生かそうとする態度を養う。

となります。

本単元における先行研究からの課題 本単元においては、地域素材を扱う学習として陥りがちな、全国「どこでも同じ」学習を目指すのではなく、子どもたちの身近にある（今回は「住民」としてよりは、直接に調査見学に行き、触れ合っている、という意味）店やそこで働く人々を扱います。よって、不確実であいまいな、しかし子ども一人一人が既にもっている販売に対する概念的知識の実態を把握し、それを学びの土台とすることで、子どもたちの社会認識の拡大・深化を図っていきたくて考えています。そのため、ノート等に子どもたちの思考を記録させる取組を継続的にを行い、それを日々の学びのモニタリングの基礎とします。また、子どもたちが、「問い」から、洗練された概念的知識を獲得していくためには、子どもの思考を構造化して視覚化する取組が必要であることが分かります。板書の工夫については、すでに本校でも実践を積み重ねていますので、その技術を活用して、さらなる検証を進めたいと考えます。

※中本和彦、河田節生 (2006)
※大藪敏宏 (2008)
※南浦京介 (2014)
※坪内康朗 (2001)

中心となる概念 子供たちは日常生活を送る中で、様々な社会的事象に関する概念的知識を獲得している、という立場に立ち、その概念的知識を「社会的事象の見方や考え方」を通して学んでいくことで深化させていきます。このことは、他の単元においても、同様に言えることであるので、社会科導入期であり、また子どもにとって身近な教材を中心に扱う3年生の段階で、自分の学び（何を知り、何を考え、何に気付いたのかなど）について自覚的になるような取組を仕組んでいくことが必要になります。まずは、地道にノートへ自分の考えを書く取組を積み重ねることが、社会的事象に対する概念的知識の深化を図る基礎であると考えます。

2. 本単元の目標と学習内容を身に付けた姿 具体的支援 (課題設定、追究、パフォーマンス、メタ認知)

目標 ・ 買い物調べやスーパーマーケット見学を通して、販売の仕事の様子、商品を通じた他地域や外国とのつながりについて調べ、販売に携わる人々の工夫について

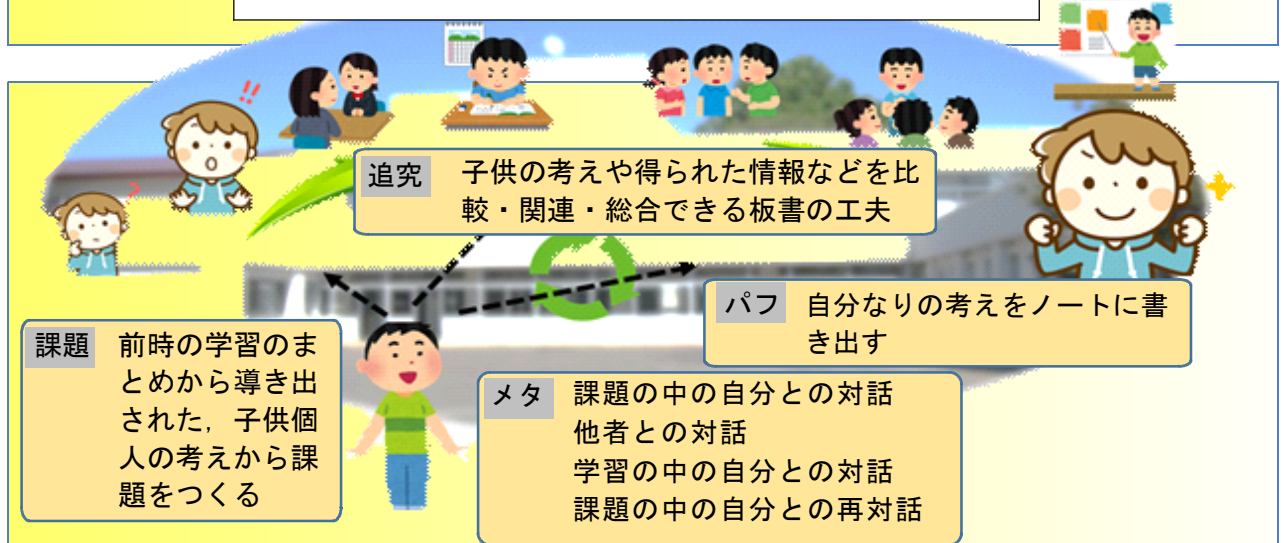
とらえることができる。

- ・ 客の買い物の工夫と店の販売の工夫とのかかわりについて考え、販売の仕事が、客の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解する。
- ・ 販売の仕事について、それに携わる人々の工夫について主体的に追究しようとする態度や、販売の仕事について考え学習したことを日常生活に生かそうとする態度を養う。

本単元で鍛える見方・考え方(何に注目し、どのように考えるのか)

消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目する。見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考える。

「子供が学びをつくる」ための具体的支援



子供が学びをつくる課題設定

子供が主体的に学ぶ工夫として「学びの文脈」(研究説明参照)があります。この工夫は、子供が学びをふり返り、学びと学びをつなげていくことで成り立ちます。1時間の授業の始めは、前時における子供一人一人の学び(学びのまとめ)のふり返りからはじまります。それらの中から、次なる学びの課題を見い出していきます。このような取組によって、教師が課題を与える授業から脱却し、子供が学びをつくる授業がつくり出されることになると考えます。

個人の思考の場としてのノート、集団の思考の場としての板書

3年生の段階において、全ての子供が課題解決に向けて自分なりの考えを他者に表出することは、まだ難しいと考えます。しかし、あいまいであっても課題に対する感情や願い、思いなどがあるはずで、それらをとにかくノートに書き出します。そのことを土台として、黒板上で教師から提供される情報や自ら得てきた情報、そして子供一人一人が考えている思考を整理・分析し、課題解決の糸口を子供たち自身が見出すことができるよう、板書を構造的に整理する必要があると考えます。その一つのすべとして、思考ツールが挙げられるでしょう。

対話が自分の学びを深める

このように、自らの学びを見つめ直すことで課題を見い出し、資料や他の考えとの対話を通して自分の考えと比較・関連させ、総合的に自分の考えをまとめることで、課題に対する自分の考えを再度見つめ直す。このような学びを繰り返すことで、確実に子供の学びは深まっていくと考えます。

本単元の学習内容を身に付けた姿

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。見学・調査したり地図などの資料で調べたりして白地図などにまとめること。	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。	販売の仕事について、主体的に学習の問題を解決しようとする。また、消費者の一員として、学んだことを日常の消費活動に生かそうとする。

3. 単元計画

時	子供の学習活動 (○)
1	<p>○ 「まち探検」の学習や日ごろの生活から、わたしたちの身の回りにはどのような仕事があるか発表し合う。</p> <p>○ 発表した仕事の中から、販売(商業)と生産(農業と工業)にかかわるものに分類し、発表する。</p> <p>○ 生産物が販売されることによって、自分たちの暮らしとかわっていることを話し合う。メタ パフ</p> <p>ものを売ったり、つくったりする仕事には、どのような工夫があるのだろうか。</p> <p>その仕事が、わたしたちの暮らしとどのようなつながりがあるのかな。</p> <p>家の人たちは、どのような店で買い物しているのかな。課題</p> <p>○ 家の人の買い物の様子をふり返り、買い物によく行く店、よく買う商品を発表する。メタ パフ</p> <p>○ 買い物調べをする計画を立てる。</p>
2	<p>○ 調べた店の人数を表やグラフにまとめて、気付いたことを発表し合う。追究 メタ</p> <p>スーパーマーケットで買い物をしている人が多いね。</p> <p>どうしてスーパーマーケットで買い物をする人が多いのかな。課題</p> <p>○ 多くの人がその店に行く理由を予想する。メタ パフ</p> <p>一度にいろいろなものが買えるからかな。</p> <p>お客さんを集めるために、何か工夫をしているのかもしれないね。</p> <p>店で働く人たちは、どのようなくふうをして、仕事をしているのだろうか。課題</p>
3	<p>○ スーパーマーケットのよいところを話し合い、多くの人が行く理由を予想する。追究 メタ</p> <p>値段が安いからかな。</p> <p>商品がたくさんそろっているからだよ。</p> <p>どのような工夫をしているのか、調べに行きたいな。課題</p>
4	<p>○ 見学で調べたいこと、気をつけることをグループごとに話し合い、発表する。メタ パフ</p> <p>KWLを使って、知っていることと知りたいことを整理しておこう。</p> <p>店内を詳しく調べるために、とくに調べることを整理しよう。</p> <p>インタビューが必要だね。マナーも忘れないようにね。</p> <p>持ち物や道順などは、以前行ったまちたんけんを参考にしよう。</p>
5	<p>○ スーパーマーケットに見学に行く。</p> <p>○ 見学したり、インタビューして分かったことを、値段・品ぞろえ・新鮮さ・便利さ・その他に分類する。追究</p> <p>売れ残りが出ないように値段を下げているのは、「値段」に当たるよ。</p> <p>肉を加工した日を書いてあったから、「新鮮さ」に当たるね。</p> <p>たくさんの店員さんが、それぞれ仕事をしていたよ。どんな仕事があったのかな。課題</p>
6	<p>○ スーパーマーケットではどのような人がどのような仕事をしていたか、観察したことをもとに発表する。追究 メタ</p> <p>商品と並べたり、パックカードで魚を切っている人もいたよ。</p> <p>働いている店員さんは、どんなことに気をつけているのかな。課題</p> <p>○ インタビューしたことをもとに、発表する。追究 メタ</p>
7	
8	
9	
本時	

時	教師の支援 (課題, 追究, パフ, メタ)
10	<p>商品と並べている人は、お客さんから見やすいように並べていたよ。品切れになりそうになると、商品を足していたよ。</p> <p>お客さんのことを考えて、買い物しやすいように工夫したり、品質に気をつけたりしていたよ。</p> <p>○ スーパーマーケットで売られている商品の産地をまとめ、白地図に表し、他地域とのかかわりについて分かったことを話し合う。追究 メタ</p> <p>りんごの値段表示に「青森産」と書いてあったよ。青森から来ているりんごがたくさんあったな。</p> <p>わたしたちが食べている牛肉や果物は、外国から来ているものもあったよ。</p> <p>食べ物を通して、わたしたちのまちは、遠いまちや外国とつながっているんだね。</p>
11	<p>○ お客や家の人は、どんなことに気をつけて買い物をしているのか考える。メタ パフ</p> <p>食品の賞味期限を確かめて、食べられる量だけ買っていたよ。</p> <p>家族の健康を考えて、誰がどこで作った食品なのかを確かめてから買っているらしいよ。</p> <p>○ お客や家の人の買い物の工夫について話し合う。追究 メタ</p> <p>安くて新鮮なものを買うために、商品に書かれたことを確かめてから買っているね。</p> <p>家族の健康を考えて、安心安全なものを選んで買っているよ。</p>
12	<p>○ お客の願いに、店はどのように合わせているのか考える。メタ パフ</p> <p>安くてよい商品を買ってもらうために、広告のちらしでたくさんの商品を宣伝していた。</p> <p>必要な分だけ買いたいお客さんのために、魚を切り分けて売るサービスをしていた。</p>
13	<p>○ お客の願いと店の工夫の対応関係について、気がついたことを発表する。追究 メタ</p> <p>お客さんの願いに合わせて、店も品ぞろえやサービスなどの工夫をしているんだね。</p> <p>買い物する工夫と商品を売る工夫はつながっていて、わたしたちの生活を支えているんだね。</p>
14	<p>○ スーパーマーケットの他に、どのような店や買い物の仕方があるのか考える。メタ パフ</p> <p>コンビニエンスストアは夜中でも開いていて、コピーを取ったり、宅配便を送ったりすることもできるよ。</p> <p>インターネットを使うと、お店に行かなくても、好きな時間に欲しい商品を買うことができるよ。</p>
15	<p>○ スーパーマーケットの仕事の学習を振り返り、それを宣伝するちらしを作るには、どんなことに気をつければよいか話し合う。追究 メタ</p> <p>買う人のことを考えて、内容を選ばないといけないよ。</p> <p>どんな人には、どんな内容のちらしにすればいいのか整理しよう。</p>
16	<p>○ まとめたちらしをもとに発表し、感想を話し合う。メタ パフ</p>

4. 本時案（9/16）

<p>本時の目標 見学して得られた情報を整理し、スーパーマーケットで働く人々の工夫、思いや願いについてまとめる。</p>		
<p>学習活動（○）と子供の姿</p>		<p>教師の支援（☆、課題、探究、パフ、マ）と評価（◇）</p>
<p>○ 前時での学びを振り返る。</p>		<p>マ 前時の学習のまとめを振り返つつ、他者の考えと比較・関連させることにより、自分なりの新たな課題を見出すきっかけとする。</p>
<p>お店では、商品の並べ方や、値段の表示の仕方などたくさんの工夫があったよ。</p>	<p>お店での工夫は、たくさんの店員さんによって取り組まれていたよ。</p>	
<p>見たことは整理できたけど、聞いたことについては、まだ出し合っていないね。</p>	<p>お店の人は、どのようなことを考えたり、願ったりしているのかな。</p>	
<p>○ 本時の課題の見出し</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見学で調べたことを整理して、お店で働く人たちの工夫や願いについてまとめよう。</p> </div>		
<p>○ 課題の追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個で整理する。 		<p>課題 前時のふり返りの交流を通して、子供たちのふり返りを比較・関連することで、新たな課題を見出す。</p>
<p>前の時間に整理した、お店の工夫を取り組んでいる人が必ずいるよね。</p>	<p>お店の人にインタビューして聞いたことはどんなことだったかな。</p>	
<p>見学したときのメモを見直して思い出してみよう。</p>	<p>他のグループは、私が見てきていないところにも行っていたな。どんな人が何を言っていたのか聞いてみたいな。</p>	<p>探究 見学で聞いてきたことをメモをもとに思い出し、他の子供に伝えやすいよう、キーワード化する。</p> <p>☆ 見学で得た情報を整理し、他の子供に伝えやすいよう、ワークシートを用意する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で整理する。 		<p>◇ 見学して得られた情報をワークシートに基づいて整理している。【考】</p>
<p>お店の人は、お客さんにたくさん買い物をしてほしいから、いろいろな工夫をしているのだと思った。</p>	<p>たくさんのお客さんに来てもらうために、お客さんに優しい工夫が一杯あるんだな。</p>	
<p>○ 課題に対する自分なりの考えをまとめる。</p>		<p>探究 個別の考えを交流させる中で、黒板に「どのような人が」「何をしていたか」を視点として整理する。</p> <p>☆ 思考ツール（マトリクス）を用いることで、情報を分類しつつ、共通点を見出し、課題の解決につながる思考を促すようにする。</p>
<p>黒板に整理されたことをじっくり見ると、お店の人たちの思いや願いには、いくつかにまとめられる。</p>	<p>お店の人たちは、お客さんがたくさん買い物をしてほしいだけでなく、安心して買い物ができるような工夫をしている。</p>	<p>◇ スーパーマーケットで働く人々の工夫、思いや願いについて自分なりの考えをまとめている。【考】</p>
<p>○ 次時の見通しを立てる。</p>		